

(参考)

## 入札金額内訳書の作成上の留意事項

入札金額内訳書の作成にあたっては、次の点に留意してください。

### 1 入札金額内訳書の記載内容について

- (1) (土木関係工事)  
閲覧設計図書に示す「見積参考資料」に記載された費目、工種、施工名称、数量及び単位並びに各項目に対応する入札額の根拠とした単価及び金額とする。
- (2) (建築関係工事)  
閲覧設計図書に示す「見積参考資料」のうち、種目別内訳書及び科目別内訳書に記載された各項目及び各項目に対応する入札額の根拠とした金額とする。
- (3) 入札公告の際に入札金額内訳書の様式を発注者が提供した場合については、原則としてその様式を使用するものとする。なお、上記(1)又は(2)に掲げる記載内容を満たしていれば、任意の様式でも差し支えない。
- (4) 総合評価落札方式の場合には、技術提案に要する費用を含めた金額で入札することとし、入札金額内訳書にも技術提案の内容を反映させるとともに、記載例を参考に、必要に応じて項目を追加すること。

### 2 審査方法について

審査は、開札後、落札候補者が提出した内訳書により行う。

### 3 無効入札として取扱う基準について

落札候補者の入札金額内訳書が次の各号に該当する場合は、大分県契約事務規則(昭和39年3月31日大分県規則第22号)第27条第10号に該当するものとして、当該落札候補者の入札を無効として取扱うものとする。

- (1) 入札金額内訳書の全部又は一部が未提出の場合(入札公告等で指定したファイル形式(PDF形式)以外の形式で提出された場合は未提出とみなす。ただし、事前に発注者の承認を得て、大分県電子入札運用基準4.4-2で定める「媒体提出届」を添付して紙で提出された場合又は紙入札書(紙入札での参加について発注者の承認を受けたものに限る)に添付して紙で提出された場合は除く。)
- (2) 入札書に記載された入札金額と入札金額内訳書の工事価格(計)欄に記載された金額が一致しない場合。
- (3) 直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の各費目の合計欄に記載された金額の合計(以下「金額A」という。)と入札金額内訳書の工事価格(計)欄に記載された金額(以下「金額B」という。)が一致しない場合  
ただし、スクラップ費等の売却費がある場合、金額Aからスクラップ費等の売却費を控除した額と金額Bが一致すれば無効としない。
- (4) 値引き、減額等の項目が計上されている場合(スクラップ費等の売却費などマイナス計上すべきものを除く。)
- (5) ①(土木関係工事)  
工事工種体系における工種・種別(各階層区分のうちレベル3相当)以上の項目の記載が、一式で全て脱落している場合  
②(建築関係工事)  
種目別内訳書又は科目別内訳書のいずれかの項目の記載が脱落している場合
- (6) その他重大な不備がある場合

### 4 ファイルの保存形式について

入札金額内訳書のファイルは、PDF形式で保存されたものに限る。

※次ページ以降の記載例を参考にすること。

※内訳書提出の目的、取扱の詳細については「建設工事に関する入札金額内訳書取扱要領」(県庁ホームページ <http://www.pref.oita.jp/soshiki/17050/kitei.html>)を参照してください。

**県では、原則として落札候補者の入札金額内訳書のみを審査しています。  
このため、落札候補者以外の入札金額内訳書については確認していません  
ので、入札結果が無効となっていないからといって入札金額内訳書に不備が  
ないとは限りません。**

# 【入札金額内訳書の正しい記載例(土木関係工事)】

商号又は名称  
代表者氏名

(株)▲▲▲建設工業

○○○○

発注業種：土木一式工事  
発注工種：一般土木(河川改良工事)  
入札金額：**3,907,000円**(税抜)

工事名 令和2年度 ×××第1号 ○○川 河川改良工事

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
河川工事01					
築堤・護岸	1	式		1,770,000	Lv1
河川土工	1	式		1,690,000	Lv2
掘削工	1	式		390,000	Lv3
掘削	1,300	m3	300	390,000	Lv4
残土処理工	1	式		1,300,000	Lv3
土砂等運搬	1,300	m3	1,000	1,300,000	Lv4
仮設工	1	式		80,000	Lv2
交通管理工	1	式		80,000	Lv3
交通誘導警備員	8	人日	10,000	80,000	Lv4
技術提案				130,000	○○に対する課題
直接工事費計				1,900,000	
共通仮設費計	1	式		257,000	
共通仮設費(率化)	1	式		257,000	
共通仮設費率分	1	式		257,000	
純工事費	1	式		2,157,000	
現場管理費	1	式		998,000	
工事原価	1	式		3,155,000	
一般管理費等	1	式		752,000	
工事価格	1	式		3,907,000	
消費税等相当額	1	式		390,700	
工事費	1	式		4,297,700	
工事価格計	1	式		3,907,000	入札書記載金額
消費税等相当額計	1	式		390,700	
工事費計	1	式		4,297,700	



# 【スクラップ費等の売却費がある場合の入札金額内訳書 記載例(土木関係工事)】

発注業種：土木一式工事  
 発注工種：一般土木(河川改良工事)  
 入札金額：10,494,000円(税抜)

商号又は名称  
 代表者氏名 (株)▲▲▲建設工業  
 ○○○○

工事名 令和2年度 ×××第1-3号 ○○川 河川改良工事

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
河川工事01					
築堤・護岸	1	式		5,200,000	Lv1
河川土工	1	式		5,200,000	Lv2
構造物取壊し工	1	式		5,200,000	Lv3
コンクリート構造物取壊し	800	m3	6,500	5,200,000	Lv4
直接工事費計				5,200,000	①
共通仮設費計	1	式		805,000	②
共通仮設費(積上げ)	1	式		120,000	
準備費	1	式		120,000	
伐採等作業費	1	式	120,000	120,000	
共通仮設費(率化)	1	式		685,000	
共通仮設費率分	1	式		685,000	
純工事費	1	式		6,005,000	
現場管理費	1	式		2,715,000	③
工事原価	1	式		8,720,000	
一般管理費等	1	式		1,920,900	④
スクラップ	-6.46	t	15,000	-96,900	控除額
売却費	-1	式	50,000	-50,000	控除額
工事価格	1	式		10,494,000	
消費税等相当額	1	式		1,049,400	→ 非記入であっても 入札価格とはしません。
工事費	1	式		11,543,400	→ 非記入であっても 入札価格とはしません。
工事価格計	1	式		10,494,000	⑤
消費税等相当額計	1	式		1,049,400	→ 非記入であっても 入札価格とはしません。
工事費計	1	式		11,543,400	→ 非記入であっても 入札価格とはしません。

【取扱要領第7の(3)】  
 ①+②+③+④=10,640,900円と  
 ⑤=10,494,000円が不一致であるが、  
 「スクラップ」売却費を控除すると、  
 ①+②+③+④+控除額=10,494,000円と  
 なり、⑤と一致するため、無効としない。

＜注意＞  
 「スクラップ」売却費の計上位置が変更